

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	社会福祉概論		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

現代社会における社会福祉の動向と課題を踏まえ、子ども家庭支援の視点から社会福祉の意義と歴史の変遷を把握し、その制度や実施体系、社会福祉における相談援助、利用者の権利擁護と利用者保護の仕組み等を理解する。特に「保育」と「教育」の視点から社会福祉を理解する視点を示す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の冒頭で前回授業で回収したシート、提出された課題及び小テストを返却し、コメントを加えてフィードバックを行う。同時に授業用のアウトプット・ノート配布/指定し、「今日の目標」と各自の「関心」を記述させる。その後、テキスト及び配布資料に基づき、ディスカッションを取り入れた講義形式で60分程度授業を行う。最後に10分程度の時間を使い、授業内容のまとめのアウトプット・ノートを記述させるとともに、理解度の自己評価をさせて提出させる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業ガイダンス レポート課題の提示	授業の実施方法、内容、評価、課題レポート並びに小テストのガイダンスを実施する。レポート課題の提示を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	CH1「現代社会の動向と社会福祉」	「少子高齢化」や「過疎化」の進行など社会問題を取り上げるとともに、「社会福祉とは何か」を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	CH2「社会福祉の歴史(1) 欧米の社会福祉」	イギリスの救貧法以降の歴史と、アメリカの福祉制度の歴史を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第4回	CH2「社会福祉の歴史(2) 日本の社会福祉」	社会事業前史から今日までの日本の社会福祉の歴史を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第5回	CH3「社会福祉法制」	社会福祉の主な法体系を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	CH4「社会福祉の実施体系」	社会福祉の行政機関、民間福祉機関・団体、財源を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第7回	CH5「社会福祉の施設と専門職」	社会福祉施設の概要と専門職を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第8回	前半のまとめと小テスト	授業前半のまとめと補足説明をして小テストを実施する。	<input type="checkbox"/>
第9回	CH6「社会保障制度」	社会保険、公的扶助制度を取り上げながら社会保障制度を概観する。	<input type="checkbox"/>
第10回	CH7「子ども家庭福祉」CH8「高齢者福祉」	「子ども家庭福祉」「高齢者福祉」の法律と制度を概観する。	<input type="checkbox"/>
第11回	CH9「障害者福祉」	「障害者福祉」の法律と制度を概観する。	<input type="checkbox"/>
第12回	CH10「社会福祉とソーシャルワーク」	ソーシャルワークの意味、成り立ち、体系、モデルを取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第13回	CH11「福祉サービスの利用支援と権利擁護」	社会福祉における利用者支援、権利擁護、苦情解決、第三者評価等を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第14回	CH12「社会福祉の動向と課題」	地域福祉の推進と担い手を取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体のまとめと小テスト	授業全体のまとめをして小テストを実施する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業テーマに該当するテキストの3分thinkingに取り組みノートにまとめるとともに、テキストを概読して関連資料を収集するなどの事前学習を2時間程度行う。授業後には使用した配布資料・シート・小テスト等はすべてポートフォリオに整理するとともに学習の要点をアウトプット・ノートに整理する事後学習を2時間程度行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出課題とするアウトプット・ノートを添削してコメントを記入するとともに採点して返却する。小テストは採点後に返却し、模範解答を開示する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	社会福祉の学びを通して小学校教員・幼稚園教員・保育士になるための免許と資格に必須の知識を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	社会福祉の学びを通して現代の教育・保育の現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うための視座・思考力・判断力を習得できる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出課題、レポート課題によって評価する。

■テキスト (Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい×子どもの福祉ボックス 社会福祉』 (株) みらい	9784860155117
2	『保育福祉小六法』 (株) みらい	9784860155421
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい☒ 子どもの福祉ボックス 子ども家庭福祉』 (株) みらい	9784860154998
2		
3		
4		
5		